

議会だより

No.179(R4.8.3発行)

令和4年 第2回浦臼町議会定例会 一般質問

第2回定例会は6月15日に開催し、6議員から一般質問がありましたので、内容を要約し報告します。



親しまれる議会だよりを目指します。

鉄道用地のゆくえ



東藤議員

Q 質問

JR 廃線後、用地の利用についての説明会もなく、1㎡2000円の登記手数料がかかるという。廃線になって2年以上経過したが、今後、用地利用希望者がいなければ町が所有するのか。管理は町が行うのか。現在は草が多く、除草剤の散布などを考えているのか。撤去工事が始まるうとしているが、内容について説明をしてほしい。

A 町長答弁

鉄道用地については国土交通省と財務省から許可がおりた後、年内にJRから町に無償譲渡の予定である。希望する住民に譲渡を行う予定であり、鉄道用地に隣接する所有者に対して7月に説明会を開催し、皆さん

の意見を確認して方向性を決定する。また町に譲渡されるまでの用地管理はJRが行う予定で、必要がある場合は町が連絡調整を行う。橋梁等の鉄道施設の撤去は、JRの負担金により町が実施する。今年度は晩生内地区を中心に撤去を進め、3年から4年をめどに終わるよう考えている。

Q 再質問

鉄道用地に隣接する所有者が用地はいらないとなった場合、町が所有するのか。

A 総務課長答弁

用地については測量にも登記にも多額の費用がかかるため、譲渡価格が高くなると思う。7月中に隣接する方に話を伺い、対策を考えたい。譲渡を受けない用地については、町が所有し管理を行う。

《変更点》譲渡前の測量の費用は町が負担する。譲渡

価格は、町の固定資産評価額を使い算出。土地の現況により雑種地または山林の単価となる。

物価高騰対策



静山議員

Q 質問

新型コロナウイルス感染症の長期化、ウクライナ、ロシア紛争状況、新興国の需要拡大、円高などが影響し、すべてのものが値上げする事態となっている。

農業関連では、ホクレンが今月から化学肥料価格を主要11品目平均で、前年度に比べて78%値上げを決めた。

今後の農家経営への打撃ははかり知れない。国には激変緩和措置に乗り出してほしいが、町として、農業を守るための対策は。

また町がこれから進めようとしている事業について見直しが必要ではないか。

A 町長答弁

J.A.ピネネと近隣自治体

が協議を開始し、情報交換、共有に努めている。影響を受ける農家数や金額が大き、先行きが未知数であり、市町村レベルで対処できる問題ではないというのが一致した考えである。

可能な範囲で地方創生臨時交付金、コロナ禍における原油高騰、物価高騰対応分を活用した支援策に取り組んでいく。国及び道に対しては確実で実効性のある強力な支援策を打ち出していただくよう要請活動を行っている。

現在の社会経済情勢は私たちの想像を超え、刻々と変化している。推進中の町事業は、規模や事業年度などを検討し、慎重に進めていく必要があると認識している。

児童の通学安全確保

Q 質問

通学中の児童が巻き込まれる交通事故の発生を防止するとともに、犯罪行為、

災害、その他の交通事故以外の事由により通学中の児童に生ずる危険性を軽減することや交通安全をはじめとする児童の通学中における安全の確保については基本指針、市町村児童通学安全計画、児童通学安全協議会等について定めることにより児童通学安全区域における交通の規制、道路の整備、安全確保対策を推進し、児童が安全に通学することができる社会の実現を国は法制化し目指すとしている。

町としての進め方は。

A 教育長答弁

児童生徒の通学路における安全確保等については、浦臼町登下校安全安心連絡会を組織し、浦臼町登下校安全安心プログラムにより関係機関が連携して、児童生徒が安全・安心に登下校できるように通学路の安全確保を図っている。

また、必要に応じ通学路における合同点検を実施し、危険箇所の把握、改善をし

ていく。

現在、法制化されていないので、教育委員会としては引き続き浦臼町登下校安全安心プログラムに基づき適正に対応していくが、法制化された場合には運用の詳細が定められた後、国家公安委員会、国土交通省、文部科学省からそれぞれの各関係機関、都道府県並びに市町村の各所管に対して基本方針が示されることが見込まれる。十分連携を図りながら取り組んでいく。



折坂議員

中学校の部活動の地域移行について

Q 質問

浦臼町では、部活動の地域移行を今後どのように進めていくのか。

①現場の教員や子供たちの

意見を聞くことが必要では。②保護者の理解や協力も必要。説明会などの予定は。③参加をためらう生徒が出ないよう、保護者の負担を軽減する行政支援は。④新たな講師の確保策として近隣自治体と連携するなどの協議や国への要望などは。

A 教育長答弁

文部科学省では、学校の働き方改革を考慮して、部活動改革として、教職員の勤務を要しない日、休日の部活動を令和5年度以降、段階的に地域移行を図るものとしている。

部活動は、学校教育の一環として位置づけられた活動であり、体力や技能の向上に資するだけでなく、人間形成の機会にもなっている。

しかし、その活動は教職員の献身的な勤務によって支えられ、長時間勤務の要因になるなど多大な負担となっている。

そのような状況を踏まえ、

「一般質問」ってなに？

一般質問とは、議員が町の仕事について説明や報告を求めたり、質問をすることです。

浦臼町議会では、年に4回（3月、6月、9月、12月）一般質問を行っています。どんなことを質問するかは、町のHPや、チラシでお知らせをしているので、気になる質問があったら、ぜひ議会へ来てくださいね！（今はマスクも忘れずに！）

スポーツ庁に提出された運動部活動の地域移行に関する検討会提言は、生徒のスポーツに親しむ機会を確保しつつ、持続可能な部活動改革として提言されたものである。

①、②現在のところ行っていない。今後、教員との意見交換や必要に応じ、保護者への適切な周知を行う。
③、④生徒数の減少が加速化する深刻な少子化の進行により、持続可能性の面で厳しさが増している中、本町が多様なスポーツ環境の整備や生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実を図ることは困難であると認識している。今後多様なニーズに継続的に対応していくためには、近隣自治体のスポーツ団体の加入が現実的で、送迎や月謝等の保護者負担が課題となることも想定されることから、課題を精査し、教育委員会での協議を行って、財政的な支援を含めた行政支援が必要な場合は町長部局との協議

を行う。近隣自治体との連携についても情報を収集する。

Q再質問

情報収集や関係者の意見聴取はもっと早くに始めるべき。スポーツや文化活動を通じて人間関係を学んだりすることから、心身の健全な育成のためにもどういう形が子供たちにとって一番望ましい方法なのか考えるのは大人がすべきことだ。浦臼町では指導者の確保（育成）やスポーツ団体の整備、保護者の経済的な負担や送迎の負担軽減の問題があると思うが。保護者にとっても初めて経験することなので、みんなが考えられるというスタイルで話し合いをやってほしい。

A教育長再答弁

小さな町だからできないというのは残念。町内で指導者ライセンスを取得する支援というのは難しいが検討してみたい。団体スポーツに関しては、人数が必要で難しいが、中学校の部活

動ということだけに限ると3年間のことになってしまっているので、小学校の時から続けていけるようなスポーツというか社会教育事業としての考え方を入れた中で検討していきたい。



柴田議員

空き地、空き家バンクの現況と今後の構想について

Q質問

①空き地、空き家バンクの現況は。

②破損した家屋や危険性を持った家屋を調査、把握しているのか。

③その所有者をすべて把握しているのか。

④今後町として対策するべき構想について。

A町長答弁

①平成28年度に制度化して、登録のあった3件すべて売買が成立している。今後、広報やホームページにおいて、制度の周知に努めたい。

②定期的に職員による巡視、地元住民からの情報提供により、12軒確認している。

③12軒の所有者についてはすべて把握していて、「浦臼町空き家等の適正管理に関する条例」第6条の規定により、文書及び電話で適正な管理に努めてもらうよう要請している。

④所有者に対し、指導及び勧告等、必要な措置を講じているが、所有者の管理責任が大前提となり、町民と地域の安全、生活環境の保全に努めていきたい。

①平成28年度に制度化して、登録のあった3件すべて売買が成立している。今後、広報やホームページにおいて、制度の周知に努めたい。
②定期的に職員による巡視、地元住民からの情報提供により、12軒確認している。
③12軒の所有者についてはすべて把握していて、「浦臼町空き家等の適正管理に関する条例」第6条の規定により、文書及び電話で適正な管理に努めてもらうよう要請している。
④所有者に対し、指導及び勧告等、必要な措置を講じているが、所有者の管理責任が大前提となり、町民と地域の安全、生活環境の保全に努めていきたい。

公園整備の現況と今後の構想について

Q質問

①旧晩生内小学校跡地を利用しているパークゴルフ場は借地管理となっているが、ミニパークゴルフ場公園と

して町の所有、運営管理下にすべきでは。
②いこいの森公園の桜の管理で、樹勢が弱っているという指摘があるが、今後の管理計画は。

晩生内では、地区のその年の出生をお祝いして桜の記念植樹を行っている。町の子育て応援事業の一つとして、桜の出生記念植樹を提言したい。

③旧JR浦臼駅前開発の中で、プラットホームを残す計画の目的は何か。必要ないのではという声が多いが。

④鶴沼公園の日本庭園は、リフォームの計画はないのか。併設するトイレはバリアフリー化の併設整備をすべきでは。

⑤鶴沼公園内の施設を含め、一体化した管理運営を目指す将来に向けた構想があるかと伺っているが、町長の考えは。

①旧晩生内小学校跡地を利用しているパークゴルフ場は借地管理となっているが、ミニパークゴルフ場公園と

A町長答弁

①当面は現状の管理形態を継続するが、法人と締結している賃貸借契約が令和5

年度末で満了となるので、改めて土地の取り扱いについて法人と協議を進め、通路及び旧グラウンド部分を町の管理に戻す方向で検討していく。

②いこいの森公園の管理は、当初、造園業者に業務委託をしていた。現在は鶴沼公園委託業者が春の枝拾いと、年3〜4回程度草刈りを実施している。当面は、現状維持しながら、産業観光推進ブランドデザインの計画全体の中で計画をしていきたい。

出生記念植樹については提言を参考に、生育環境や管理、鑑賞の容易さなどを考慮し、植樹場所を浦臼駅周辺のエリアも候補として検討したい。

③旧JR浦臼駅跡地については、解説プレートの設置や駅名板を現状のまま残し、JR札沼線の鉄道遺産を目で見て触れることのできる形で後世に残すことを目的とするものである。

④、⑤産業観光推進プラン

ドデザインは、道の駅、温泉施設及び鶴沼公園施設を一体的に整備する計画であり、日本庭園及びトイレの配置を含めた公園整備についても、公園エリアの基本設計時に再整備の方針を決定したい。

管理運営については、現在は企業体に管理をお願いしているが、施設と一体的な公園管理キャンプ場の管理を一つの業者の方にお任せできるような形になればと考えている。



牧島議員

1%の農民が37%以上の自給率向上のために

Q 質問

ホフレンは肥料の78%の値上げと大きく報道された。記事では、比較できる19

80年以降最大の値上げ幅と言われている。本町農業の一層の確立のため、国への支援要請をされたい。

A 町長答弁

農林水産省は科学肥料の値上げを受けて、農家支援対策に入り、燃料などの高騰分を補てんする現行の枠組みに肥料を追加する案や補助金を支給する案を軸に検討するとしている。食料生産、食料安保という国の根幹部分を揺るがす極めて深刻な問題と受けとめている。他自治体や関係機関と共同して、強力で持続的な支援策を打ち出すよう強く要請する。

Q 再質問

水田活用の直接支払交付金の制度が、今後5年間で水張りをしないうところは水田に認めないなどという国の考え方に大変苦慮している。本町は山間地帯での生産、転作も含め、生産に寄りしていること、農業王国として食料自給率200%の北海道の生産現場が

あると伝えてほしい。

A 町長再答弁

どこまで個々の町の事情をくみ取るかわからないが、要請する。

執行方針での見守り体制の充実とはどうされるのか

Q 質問

見守り体制の充実とはどのように進めるのか。介護保険事業計画で、町は当面単独チームでの事業推進とあるこの意味は何か。

A 町長答弁

空知中部広域連合構成全市町でチーム設立を目指したものの難航したことから、町独自で精神科医をサポート医として確保し、平成29年1月、連合に先立って、単独で設置するに至った。住民全体を支援する形で稼働できること、社会資源や地域特性を熟知している医師とスピーディーに展開できること、地域づくりを視野に入れた施策の展開

ができることなどがある。

執行方針での見守り体制の充実については、町地域包括支援センターでサービスを利用していないひとり暮らしや高齢者のみの世帯への訪問を継続実施し、状況の確認を行うほか、地域の困りごとや不足しているサービスなどについて、点検訪問や保健福祉事業、高齢者見守りネットワーク事業からの情報も含め、生活支援コーディネーターと協力連携しながら、高齢者のニーズに即した施策の検討を中長期的な視点で進める。

小中学校での補助教材費の保護者負担の軽減を求める

Q 質問

小中学校では、補助教材費、テスト、ドリル、図工教材、理数教材等として年間数千円からの負担がある。本町ではいくらか。また子供の貧困対策という観点で購入費用の補助を。

令和4年度1人あたり年間教材費

学年	小学校		学年	中学校	
	1人あたりの金額	補助額		1人あたりの金額	補助額
1年	6,840円	2,040円	1年	6,449円	1,750円
2年	5,240円	2,040円	2年	9,610円	1,750円
3年	7,260円	3,360円	3年	9,185円	1,750円
4年	7,660円	4,380円			
5年	8,380円	4,380円			
6年	10,550円	4,920円			

※補助は主要5教科のテスト1人あたりの金額

A 教育長答弁

令和4年度小中学校の一人当たりの年間教材費は表のとおり。

小学校ではおよそ40%の補助、中学校ではおよそ20%の補助を行い負担軽減を図っている。令和3年度からGIGAスクール構想により、電子ドリルアプリケーションの導入などを促進している。今後は紙ドリルの削減を図るなど教材費の圧縮に努める。



野崎議員

Q 質問

4月に議会と商工事業者との懇話会を開き、若い事業者が今後5年、10年先の町を憂いているのでお聞きする。

一次産業の農家戸数減による住民減少が進み、町の将来に不安が強い。町長は昨年、にんにく部会に対し、産品奨励として種子購入資金を助成した。素早く対応した事は評価する。更に新規就農者の力を借り、農産物のすそ野拡大のため、園芸、畜産などに施策を広げ農家戸数の拡大に努めていきたい。

商工業者にとって現在の人口で事業を維持、継続、

A 町長答弁

後継者育成することは大変厳しい。人口の維持を図ることが商工業にとつては最大の助成である。我が町でこれ以上の人口減少は許されないの思いだが、町長にはどのような対応策があるのか。

本町は人口減少が続き、地域住民を主な顧客とする商工事業者には、経営を継続、また投資する上で最大の不安要素であり、懇話会で率直な意見が多数出たと思う。小規模な自治体にとって定住対策は厳しい状況である。

農業者の所得向上と持続可能な農業推進のため高収益作物の支援事業を4月から開始した。にんにくについては昨年から作付けが9件増え、今後の産地化に本町独自の新規就農者の営農モデル作成や指導者の育成支援制度の整備など受け入れを整えたい。農業分野の支援策が目指すのは地域の就業機会の提供で確実に定

Q 再質問

住できるよう取り組みたい。さらに空き家利用など支援策や情報提供、誘致について検討する。今後産業観光推進ブランドデザイン関連事業にも一定の雇用を見込んでいきたい。

この問題は以前から議員各位要請している。手を打てなかった行政は今、本当に、知恵を出して欲しい。近隣の町では3年連続で社会減少を抑えても移住定住促進、交流人口の増加など貪欲な動きを見せている。耕地面積の狭い浦臼で水稻農地の大型化で町の人口を維持する事はできないので常に農家戸数の減少を補っていくシステムを構築し、町に託された自治権を活用する事が必要ではないか。成功事例として、畜産で他町に移住した家族がいる。浦臼で成功の自信をつけて、他町に移住した。小さくても農家戸数をふやす事は必要で、できると思っている。今が将来に向けて

の試金石になるとの思いで、町長には頑張ってください。

議会の活動状況がインターネットでもわかります

定例会・臨時会の議決結果、一般質問通告、会議録を公開しています。

浦臼町議会

←浦臼町議会で検索してください。

審議された事件と結果

条例等の審議と結果

- ◆浦臼町税条例等の一部を改正する条例について
―可決―
- ◆北海道市町村総合事務組合規約の変更について
―可決―
- ◆北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
―可決―
- ◆北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に
ついて ―可決―

報告事項

- ◆繰越明許費繰越計算所の報告について
- ◆翌年度繰越事業と繰越額
 - 社会保障・税番号システム整備事業 320万円
 - 住民税非課税世帯等給付事業 200万円
 - 社会資本整備総合交付金事業 2億7,940万円
 - 学校保健特別対策事業 220万円
 - 石狩川流域下水道事業 62万4,000円
- ◆浦臼町土地開発公社の経営状況の報告について
令和3年度事業及び決算、令和4年度事業計画及び事業予算について報告されました。

請願書・意見書

「請願書」

○食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書の請願書(請願受付第2号)

―採択―

・請願者 浦臼町農民協議会 委員長 柴田 勉

・紹介議員 静川 広巳
「意見書」

原案のとおり可決し、関係各官庁に提出しました。
○食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書

〔提出先〕内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長

○森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

〔提出先〕内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、環境大臣、復興大臣、衆議院議長、参議院議長

◎令和4年度予算の補正されたもの（第2回定例会）

会計名 (補正番号)	補正後の予算額 (補正額)	補正された主なもの
一般会計 (第1号)	36億3755万9000円 (3755万9000円)	住民税非課税世帯等給付金 400万円 保育士等処遇改善賃金助成金 124万9000円 営農対策協議会活動事業補助金 46万円 水利施設電気料 1100万円 町内消費活性化事業補助金 900万円 郷土史料館空調設備設置工事 251万9000円
後期高齢者医療特別会計 (第1号)	4760万5000円 (50万5000円)	給料 31万4000円 職員共済組合等負担金 13万5000円

町政はあなたのために。

議会を傍聴してみませんか？

- 町議会の定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）開きます。
- 町議会の臨時会は、必要に応じて随時開きます。
- 難しい手続き不要！傍聴人受付票に記入するだけです。
また役場1F・2F大型モニターで傍聴することもできます。

令和4年第2回定例会は4名の傍聴がありました。

☆ありがとうございました☆



条例等の審議と結果

- ◆ 専決処分した事件の承認について〔浦臼町税条例の一部を改正する条例〕 ―承認―
- ◆ 浦臼町長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について ―可決―
- ◆ 浦臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について ―可決―
- ◆ 浦臼町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について ―可決―

財産の取得について

- ◆ 除雪トラック（10t級ダンブ型）1台
 - ・ 契約方法 指名競争入札
 - ・ 契約金額 5,141万円
 - （うち消費税額 465万5,000円）
 - ・ 契約の相手方 UDトラックス北海道株式会社

寄付行為について

議会議員は、選挙区内で金銭や品物を送ることは特定の場合を除いて法律で禁止されています。

また、有権者が求めてもいけません。ご理解とご協力をお願いいたします。

〇水田活用の見直しにおける町の状況

農林水産省は令和4年度より水田活用の直接支払交付金について、大幅な見直しを行うとした。その内容は、畦畔や水路がないため水張りができない水田に対して、交付金の対象外とすることとした。

今までの内容と比較した場合の拡充及び見直しについては、

- ① 飼料用米等の支援内容の見直し。
 - ② 地力増進作物への支援を創設。
 - ③ 交付対象水田の現行ルールの再徹底。
 - ④ 多年生作物（牧草）に対する支援内容の変更。
 - ⑤ 高収益作物畑地化支援として単価の見直し。
 - ⑥ 産地交付金の運用ルールで取り組みの定着度に応じた単価や支援年限の設定となつている。
- 作付け実態に対する影響は大きいと考えられ、各自

〈調査日4月4日〉

治体地域農業再生協議会において、将来の作付けに向けた方向性を示すことが求められる。

また、農業における経済への打撃を最小とするためにも、充実した内容の検討を求めるものである。

本町において、現行と今後の面積調査を行う必要がある。農業者への早めの情報提供と対応策を示す必要がある。

WCSに取り組むにあたって、本町での現状を調査することで、需要と供給のバランスがどのようになっているのか、有利販売への情報提供が必要である。

水田の水張りを含め、5年後への意向について詳細に調査するとともに、一時的に取り外している畦畔の取扱いについて意向調査を早急に実施することを求める。

各実施内容に対する本町の影響面積についての議会への情報開示を求める。

◎議会運営委員会

6月8日
・ 第2回定例会の運営について

◎全員協議会

5月13日
・ 浦臼町税条例の一部を改正する条例について
・ 浦臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

・ 浦臼町長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について

・ 多世代交流施設等の建設について
6月15日
・ 第2回定例会の運営について

・ 浦臼町一般会計補正予算について
・ 浦臼町税条例の一部改正について

・ 町立診療所建替事業について

◎議会広報特別委員会
7月12日

・ 議会だより第179号編集

ふねあらいとんたてつー

今回は、「中央地区ゲートボール会」会長の林義輝さんにお話を聞きました。



①林さんは現在何歳ですか。
 歳を取るの早いもので、昭和5年生まれ92歳になります。

②会の発足はいつ頃からですか。
 以前はみどり学園のゲートボール会もありました。学園の会が解散してからです。

現在の中央地区のゲートボールの会ができて約20年になります。

③現在の会員数は何名ですか。
 今は10名で水曜、土曜の週2回活動しています。

④会の活動の中でどのような時が楽しいと感じますか。
 メンバーの顔を見て一服でおやつを食べながら世間話を楽しみますね。

またメンバーは、楽しいし体にも良いと喜んでおります。

⑤どのようなことが大変ですか。
 会員の送迎が大変です。私も免許の返納をしたいが、遠くの方の送迎ができなくなるのでなかなか難しい。また、ゲートボールのルールを覚えるのに何年もかかり苦労します。

⑥今後の課題はありますか。
 若い人の入会が課題ですね。会を若返らせたいです。

⑦町への要望はありますか。
 教育委員会にはお世話になっていますが、コース付近の除草剤の散布をお願いしたいです。

何本かクラブの貸し出しもして頂けたら有難いです。

⑧いつもご夫婦でゲートボールを楽しまれていますか、元気の秘訣は。
 奥さんと楽しく話をしながら晩酌を楽しんでいます。それが元気の元でしょうか。



本日はありがとうございました。いつまでも楽しくお元気でゲートボールを楽しんで頂きたいです。ご協力ありがとうございました！



新型コロナウイルス感染症は、一時おさまっていたが、最近では、急速に感染が拡大している。以前より症状は軽くなっていると言われているが、新たな変異株も出現している。これからも感染対策の徹底を。

ロシアによるウクライナへの武力侵攻は、民間人への攻撃など非人道的な配慮のない攻撃が未だ続いている。一刻も早い侵攻の終結と、争いのない世界を願うものである。

最近の北海道は、急激に気温が上昇している。猛暑も予想され、皆さまには、水分を十分に摂取し、暑さを避ける工夫を。熱中症に気を付けてお過ごしください。

編集後記

(野崎)

委員長	野崎	敬恭
副委員長	折坂	美鈴
委員	東藤	晃義
委員	高田	英利